

ONLINE

メディアセミナー ご取材のお願い

世界で警告される「薬剤耐性(AMR)」の脅威

「薬剤耐性(AMR)*対策 最新動向 2021」

【日時】 2021年10月1日(金) 15:00-17:00 (入室開始14:30)
オンライン開催

国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター(厚生労働省委託事業)は、昨今問題となっている薬剤耐性(AMR)の最新情報と今年度の取り組み、調査データを発表するメディア向けセミナー「薬剤耐性(AMR)対策 最新動向 2021」を開催します。

AMR臨床リファレンスセンターは、薬剤耐性対策や抗菌薬適正使用などを具体的に盛り込んだ「薬剤耐性(AMR)アクションプラン」に基づく取り組みを推進するため、厚生労働省委託事業として2017年4月に設立されました。

今年のセミナーでは、5年目を経過した「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン」の次への課題、日本における抗菌薬の使用状況、市民意識調査の結果など、これまでの活動と今後の展望を各チームの担当医師からお話します。

“新型コロナウイルス”の感染拡大からわかるように、感染症の流行は社会に大きな影響を及ぼします。国連は2050年までに薬剤耐性により、年に1000万人が死亡し、がんの死亡者数を超え、金融危機に匹敵するダメージを受けるおそれがあると警告*しており、日本でも年間約8000人が薬剤耐性菌によって亡くなっていると推計されています。今後予想される薬剤耐性によるパンデミックに備えることも重要な課題です。

日本では、毎年11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」に設定し普及啓発活動を推進しています。つきましては、ご多忙とは存じますが、報道関係のみなさまのご参加を賜りますようお願い申し上げます。

*AMR (Antimicrobial resistance) とは、病原体が変化して抗菌薬・抗生物質が効かなくなることです
 *<https://news.un.org/en/story/2020/04/1037471>

No Time to Wait: Securing the future from drug-resistant infections Report to the Secretary-General of the United Nations April 2020

プログラム

15:00-15:20	薬剤耐性(AMR)対策 最近の動向 AMR臨床リファレンスセンター センター長	おおまがり のりお 大曲 貴夫
15:20-15:40	薬剤疫学室からの報告 ● 抗菌薬使用状況をより広く効率的に共有する方策 薬剤疫学室 主任研究員	おおの あかね 大野 茜子
15:40-16:00	臨床疫学室からの報告 ● —SDGsとAMR— 臨床疫学室 室長	まつなが のぶあき 松永 展明
16:00-16:20	情報・教育支援室の取り組み ● 市民の意識調査からみえること ● 11月「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」啓発キャンペーンについて 情報・教育支援室 室長	ふじとち ゆみこ 藤友 結実子
16:20-17:00	* 質疑応答	

返信先▶

AMRCRC広報事務局
共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部4部 高橋(速)宛
TEL : 03-6260-4856

返信先アドレス▶amr-pr@kyodo-pr.co.jp

厚生労働省委託事業

メディアセミナー ご取材のお願い

世界で警告される「薬剤耐性」の脅威
「薬剤耐性 (AMR) 対策 最新動向 2021」

日時■2021年10月1日(金) 15:00 オンラインセミナースタート
(入室開始 14:30 終了 17:00)

プログラム

- 15:00-15:20 薬剤耐性(AMR)対策 最近の動向
- 15:20-15:40 薬剤疫学室からの報告
- 15:40-16:00 臨床疫学室からの報告
- 16:00-16:20 情報・教育支援室の取り組み
- 16:20-17:00 * 質疑応答

▼該当する欄に印をつけ、必要事項をご記入の上、9月28日(火)までにご返信ください。
参加URLはお申し込み後にお送りいたします。

ご出欠	<input type="checkbox"/> ご出席	<input type="checkbox"/> ご欠席
貴社名		
貴メディア名		
貴部署名		
ご芳名	他 名	
ご連絡先	TEL e-mail	FAX
ご要望等		